

第47回 J C 青年の船「とうかい号」 事務局長方針

<事務局長方針>

J C 青年の船「とうかい号」は海の先にあるアジアとの架け橋となるべくその歩みを始めました。アジアとの交流から生まれる新しい体験は、一般団員に新たな価値観を生み出し、洋上で行われてきた研修により地域社会・企業に必要とされる人材育成を行い東海地方の成長の一助となってきました。しかし時代の変化とともに多様な考え方が生まれ、東海地方でも今まで以上に時代に合った人材の育成が求められていると考えます。

現在この地域に必要とされているのは、地域社会・企業の抱えている問題を自分事と捉え、それを解決に導くために多くの人を巻き込み行動を起こすことができる人材です。第47回 J C 青年の船「とうかい号」では7日間の航海の中で、普段の生活とは異なる16のチームコミュニティでの洋上生活を企画します。本年の渡航先の台湾・台北市は世界23位の国際金融センターと評価されるアジア屈指の世界都市であり、既にSDGsにおける重要なパートナーシップを数多く築いています。台北市での国際的な交流を行うことで国際基準のSDGs推進の機運が醸成されます。さらに船内での研修においては、知識のインプットだけにとどまらず、アウトプットの時間を設けることで研修の効果をさらに高め地域社会・企業に求められる人材の育成を行います。一般団員約400名が地域社会・企業に求められる人材となることで希望溢れる東海の創造につながります。また、輩出していただく J C 団員には、「誰もが輝く未来への挑戦！！～希望溢れる東海への航路（みち）～」のスローガンのもと一人ひとりが自ら目標を持ち行動を起こすことで地域社会に大きなインパクトを与える事業となります。

事務局として、この大きな事業が滞りなく運営できるよう、進めてまいります。その先にある「とうかい号」の成功が、すべての乗船者の成長につながり、次代を切り拓き明るい豊かな社会の実現につながると確信します。

・事業名：第47回 J C 青年の船「とうかい号」

<SDGs ゴール：4>

<SDGs ターゲット：4.4>

洋上研修により人材育成を行い企業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を増加させる。

<SDGs ゴール：5>

<SDGs ターゲット：5.5.2>

洋上生活の中で女性の参加および平等なリーダーシップの機会を確保し、地域社会・企業におい

での女性の活躍を促す。

<SDGsゴール：8>

<SDGsターゲット：8.2>

洋上研修により人材育成を行い労働集約型の産業の多様化、技術向上およびイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性に貢献する。

<SDGsゴール：11>

<SDGsターゲット：11.3>

台湾との国際交流を通じて持続可能な都市化を促進し、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。

<SDGsゴール：17>

<SDGsターゲット：17.16>

非日常の洋上生活でマルチステークホルダーへと変革する契機とし、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。